

いつでも どこでも だれでも

安心して医療を 受けられるように

何歳でも
世代を問わず
安心して医療を
受けられる社会に!

どこに
住んでいても、
安心して
子どもに医療を
受けさせたい!



わたしが変える
1票からはじまる



何歳でも世代を問わず 安心して医療を受けられる社会に!

わたしが変える
1票からはじまる



! 政府は「全世代型社会保障」というけれど...

参議院選挙後に、あらゆる世代に負担増が計画されています。

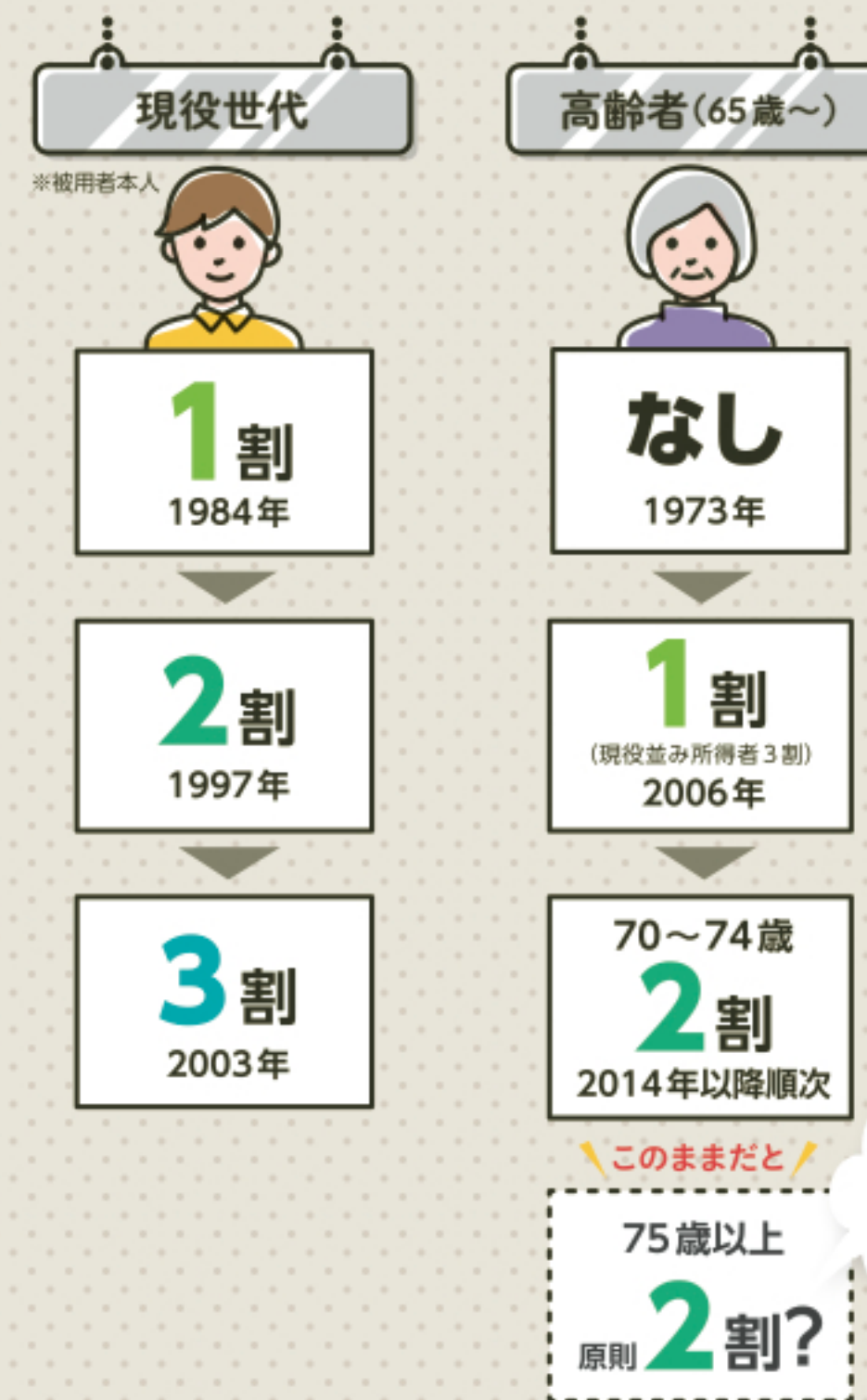
● 今後計画されている負担増



! 現役世代も高齢者も、

医療費の窓口負担が増えています。

● 医療費の窓口負担の推移



どこに住んでいても、安心して 子どもに医療を受けさせたい!

わたしが変える
1票からはじまる



! 住んでいる地域によって

助成制度の対象年齢、
窓口負担額が異なります。

● 助成が手薄な地域のお母さんは...

子どもが体調を崩しても、
窓口負担が心配で、
ギリギリまで様子を見る
という状態です...



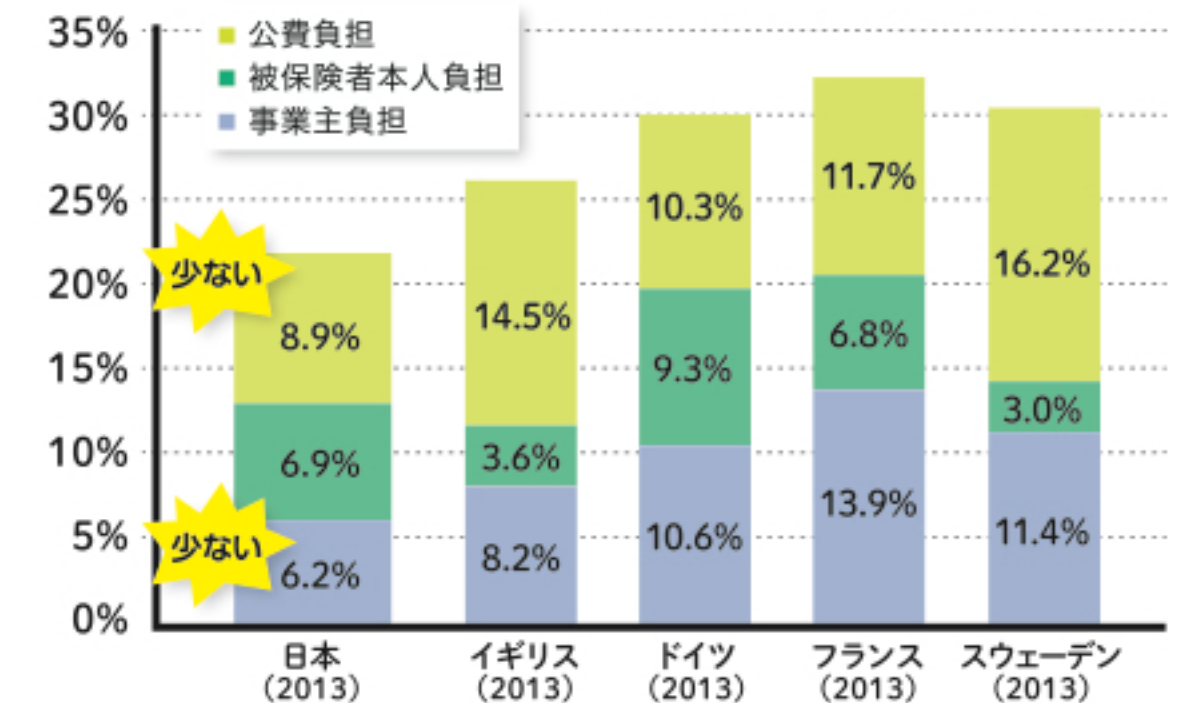
国の制度として
すべての子どもの
医療費を無料に



実は 日本は社会保障にかけているお金が少ない!

日本はEU各国に比べて、社会保障にお金をかけていません!
特に国などの負担(公費負担)の割合が低くなっています。

● 社会保障財源の対GDP比の国際比較



(資料) 社会保障・人口問題研究所「社会保障費用統計」(日本)、Eurostat「European Social Statistics」(イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン)

実は 消費税を増税しても税収は増えていない!

消費税増税の一方で、減っている税金があります。
そのため、国の税収全体は消費税導入後も増えていません。
減っている税金とは、

大企業の法人税 高額所得者の所得税



お金の使い方、
税の集め方をあらためれば、
社会保障を充実
させることができます

わたしたちの窓口負担を
これ以上増やさないために



政府は参議院選挙後に
患者負担を増やそうとしています。

流れをかえるには、
参議院選挙がチャンス！
投票に行こう！

